

モニュメント「愛」除幕式





平成9年3月18日

此所に、奈良県立医科大学の象徴的存在とも言うべきモニュメントが完成した。欣快の極みである。

このモニュメントは、本学の創立五十周年記念事業の一環として、同窓会の支援により建設されたものである。

制作者は奈良市在住の彫刻家、日展評議員、杉村尚氏である。モニュメントのテーマは愛。愛は無限であり、家族は愛の原点である。温かい家族の愛がここに具現されたのである。

「医学・医療の道を志す学生諸君には、このモニュメントの意味するところを汲みとって、豊かな感性と人間性の涵養につとめ、加えて、母校への故郷志向を育んで欲しいと思う。

今や、本学は、諸先輩の努力と、県当局ならびに関係各位の御尽力によって、名実ともに医科大学として誇るに足る大学に成長することができた。輝かしい五十年の歴史を礎に、将来に向ってのさらなる飛躍を念願してやまない。

平成九年三月十八日

奈良県立医科大学

学長 辻井 正

本学の創立五十周年を記念し、ブロンズ製家族像を寄贈する。この温かい優しさと凛とした清らかさは杉村 尚先生の造形に成るものであり、力強く大地に立つ父親の真直な意志と礼節と活力の表現、そして頼もしさを感じさせる 母性愛の表現は、正に求められる医師像そのものと言える。この家族像が象徴する尊い人間愛が、我が母校の伝統とともに受け継がれて行くことを祈ってやまない。

平成九年三月十八日

奈良県立医科大学

同窓会長 石川 兵衛